■ 公開シンポでSociety5.0を考える

広島工業大学

「Society5.0時代の波に乗ろう」と題した公開シンポジウムを平和記念公園内の広島国際会議場（広島市中区）で開き、参加した約200人が超スマート社会（Society5.0）に向けた技術革新や取り組み事例などを聴いた＝写真。

シンポジウムでは、内閣府の永井岳彦参事官ら４氏が講演し、人工知能（AI）技術や量子技術など強化が必要な基幹分野を軸にした国の戦略などを紹介。AI研究の延長線上にある社会の可能性など具体的な事例を交えた話に、近未来社会のイメージを膨らませた。

続くパネルディスカッションでは広島工業大の林孝典教授をコーディネーターに、４氏は失敗や不完全な技術を許容できない日本の特性がデジタルの浸透を他国より遅らせているなどと指摘した。